

数的センス向上 ミニセミナー 基礎編

日時 2019年10月17日(木) 9:30 ~ 12:40 《お申込締切日：10月15日(火)》

会場 文昌堂ビル 10階 会議室

東京都台東区上野 5-1-1 文昌堂ビル 10階
JR山手線・京浜東北線・総武線「秋葉原」駅 中央改札口より昭和通り沿いを御徒町方面へ 徒歩6分
東京メトロ銀座線「末広町」駅より蔵前方面へ 徒歩6分

受講料 12,000円 (税込)

講師 はせがわ まさのぶ ビジネス数学インストラクター
オルデナル・コンサルティング代表

受講対象

・ 経営者、人事ご担当者
・ 部門にて教育研修導入をお考えの方

定員

25人 (最小開催人数：6人)
定員になり次第、締め切ります。

※研修内容は仕事で数字を扱うことが苦手な若手社員を対象としております

セミナーのねらい

① ビジネス数学の「5つの力」の向上

ビジネスを行う上で「数字」を意識することはとても大切です。本セミナーではグループワークを通じてデータをつかむ「把握力」、使える情報に加工する「分析力」、数的根拠から最適解を選ぶ「選択力」、未来を予測する「予測力」、的確に伝える「表現力」のビジネスの数字を扱う上で重要な5つの力の向上をめざします。

② 「ざっくり」と数字を使う数的感覚の養成

電卓や表計算ソフトは単なるツールにすぎないので、間違った入力をすれば間違った答えしか出てきません。数字のミスを防ぐには概算によって「だいたいこのくらいの数値になるよね…」といったざっくりとした数字をすばやく思い浮かべられるかがカギなのです！

③ 「じっくり」と数字を使う数的思考力の向上

数字を使って分析する目的は「よりよい意思決定を行うこと」です。たとえどんな高度な手法を用いた分析を行っても、得られた結果が意思決定につながらなければ価値はありません。価値ある意思決定を行うためには「何のためにその分析を行うのか?」「その分析によって何がわかるのか?」を意識できていることが大切なのです。



ビジネスに必要な「5つの力」

- 把握力** データやグラフの意味を的確に把握する力
- 分析力** 規則性や相関を見抜き「使えるデータ」へと加工する力
- 選択力** 数理的な根拠をもとに最適な選択肢を選ぶ力
- 予測力** 数理的データをもとに事業の将来像を見抜く力
- 表現力** 情報をわかりやすく表現し相手に的確に伝える力

プログラム

前半

(9:30 ~ 11:10)

数的基礎力養成：把握力：データを正しく読み取るには？／分析力：ざっくりと数字をつかむコツ／選択力：数的根拠に基づいて最適な選択を行うには？／予測力：不確定な未来を予測するには？／表現力：グラフの正しい活用法

後半

(11:20 ~ 12:40)

グループワーク課題：あるテーマについてビジネス数学の「5つの力」を実践的に活用し、5分程度のプレゼンテーションを行っていただきます。

数的センス向上 ミニセミナー 実践編

日時 2019年10月17日(木) 13:30 ~ 16:40 《お申込締切日：10月15日(火)》

会場 文昌堂ビル 10階 会議室

東京都台東区上野 5-1-1 文昌堂ビル 10階
JR 山手線・京浜東北線・総武線「秋葉原」駅 中央改札口より昭和通り沿いを御徒町方面へ 徒歩6分
東京メトロ銀座線「末広町」駅より蔵前方面へ 徒歩6分

受講料 12,000円 (税込)

講師 はせがわ まさのぶ ビジネス数学インストラクター
オルデナール・コンサルティング代表

受講対象 ・ 経営者、人事ご担当者
・ 部門にて教育研修導入をお考えの方

定員 25人 (最小開催人数：6人)
定員になり次第、締め切ります。

※研修内容は仕事の実践で数字を扱うことが多い中堅社員を対象としております

セミナーのねらい

① ビジネスで活かす5つの数字力向上

ビジネスを行ううえで「数字」を意識することはとても大切です。本セミナーではグループワークを通じてデータをつかむ「把握力」、使える情報に加工する「分析力」など、ビジネスの数字を扱う上で重要な5つの力の向上をめざします。

② 「明日から役立つ」実務対応力の強化

ビジネスシーンで役立つ数字力を身に付けたいがどうすれば良いかわからない…と悩まれる方は非常に多いです。最も効果的なことはより実務に即した実践形式のワークを繰り返すことではないでしょうか？手と頭を動かして自身のパターンを作ることがカギです！

③ 「よりよい意思決定」をするための表現力強化

どんなに素晴らしいデータ分析を行っても相手に伝わらなければ自己満足でしかありません。会社組織で意思決定を行うには他者に分かりやすく考えを伝える「表現力」の強化が必要です。そのためには、「結論」「根拠」「根拠を示すデータ」を示すことが求められます。



ビジネスに必要な「5つの力」

- 把握力** データやグラフの意味を的確に把握する力
- 分析力** 規則性や相関を見抜き「使えるデータ」へと加工する力
- 選択力** 数理的な根拠をもとに最適な選択肢を選ぶ力
- 予測力** 数理的なデータをもとに事業の将来像を見抜く力
- 表現力** 情報をわかりやすく表現し相手に的確に伝える力

プログラム

前半

(13:30 ~ 14:10)

後半

(14:20 ~ 16:40)

イントロダクション：ビジネスシーンにおける3つの数字活用術、5つの力(把握力・分析力・選択力・予測力・表現力)

実践演習：5つの力の内、いくつかの力を活用した実践演習を実施します。演習は個人ワーク＋グループワークにて実施します。

ビジネスで使える統計ミニセミナー

日時 2019年12月12日(木) 9:30 ~ 12:40 《お申込締切日：12月10日(火)》

会場 文昌堂ビル 10階 会議室

東京都台東区上野 5-1-1 文昌堂ビル 10階
JR 山手線・京浜東北線・総武線「秋葉原」駅 中央改札口より昭和通り沿いを御徒町方面へ 徒歩 6分
東京メトロ銀座線「末広町」駅より蔵前方面へ 徒歩 6分

受講料 12,000円 (税込)

講師 はせがわ まさのぶ ビジネス数学インストラクター
オルデナル・コンサルティング代表
長谷川 正恒

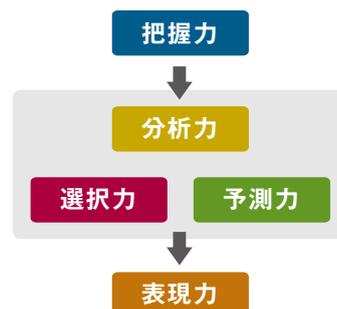
受講対象 ・ 経営者、人事ご担当者
・ 部門にて教育研修導入をお考えの方

定員 25人 (最小開催人数：6人)
定員になり次第、締め切ります。

※研修内容は統計手法の基礎を学びたい若手中堅社員を対象としております

「ビジネスに必要な5つの力」とは

ビジネスシーンにおいて必要とされる数学力は、大きく5つに分けられます。物事の状況や特徴をつかむ「**把握力**」、規則性や変化、相関などを見抜く「**分析力**」、いくつかの事象から最適な解を選ぶ「**選択力**」、過去のデータから未来を見通す「**予測力**」、情報を正確に伝える「**表現力**」です。これらの力は、ビジネスシーンの至るところで求められます。



セミナーのねらい

① ビジネスシーンで役立つ「統計の基礎」を理解する

統計データは眺めているだけでは単なる数字の羅列にすぎません。統計データをきちんと読み取るには「数値」と「ばらつき」の2つに着目し、「平均値」「中央値」「標準偏差」などの基本統計量を読み取る必要があるのです。まずは基本統計量の求め方・読み方について確認しましょう。

② データを「読む力」と「伝える力」が向上する

統計データから得た情報はビジネスに活用できて初めて意味を持ちます。しかし、統計情報を数値のまま伝えても、意図した内容が伝わらないことが多いのです。情報を効果的に伝えるためには、図表やグラフを適切に活用することが必須です。本セミナーでは、統計情報を伝えるための効果的なグラフの使い方を学びます。

③ 使用頻度の高い分析手法を身につける

統計データを正しく分析するには、知りたい内容に合わせて適切な分析手法を選ぶ必要があります。分析手法は数多く存在しますがデータ分析の専門家でもない限り、通常の業務で使用される分析手法はそれほど多くありません。本セミナーでは通常の業務でもよく使われる分析手法である「相関」と「単回帰分析」の活用方法について学びます。

プログラム

Step1 (9:30 ~ 10:10)	Step2 (10:10 ~ 10:50)	Step3 (11:00 ~ 11:40)	Step4 (11:40 ~ 12:40)
データを読む ：基本統計量の意味と使いどころのポイントを学び、Microsoft Excel® を用いて求める方法を身につける。	情報を伝える ：「棒グラフ」「折れ線グラフ」「円グラフ」の使い分けを学び、目的に合わせて Microsoft Excel® でグラフを作成する方法を身につける。	よく使う分析 ：広く活用できる基本的な分析手法である「相関」等について学び、Microsoft Excel® を使った分析の方法を身につける。	実践演習 ：Step3 までに身につけた知識・手法を、実際のビジネスデータに活用し、統計データを処理するポイントをつかむ。

あなたも“数字に強い”ビジネスパーソンをめざしませんか？

“ざっくり”学ぶ財務諸表

日時 2019年12月12日(木) 13:30～16:40 《お申込締切日：12月10日(火)》

会場 文昌堂ビル 10階 会議室

東京都台東区上野 5-1-1 文昌堂ビル 10階
JR山手線・京浜東北線・総武線「秋葉原」駅 中央改札口より昭和通り沿いを御徒町方面へ徒歩6分
東京メトロ銀座線「末広町」駅より蔵前方面へ徒歩6分

受講料 12,000円(税込)

講師 はせがわ まさのぶ ビジネス数学インストラクター
オルデナル・コンサルティング代表
長谷川 正恒

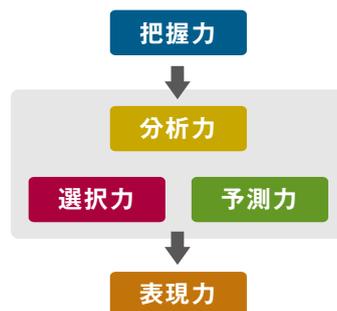
受講対象 ・経営者、人事ご担当者
・部門にて教育研修導入をお考えの方

定員 25人(最小開催人数：6人)

※研修内容は経理財務部門以外の若手～幹部社員を対象としております

「ビジネスに必要な5つの力」とは

ビジネスシーンにおいて必要とされる数学力は、大きく5つに分けられます。物事の状況や特徴をつかむ「**把握力**」、規則性や変化、相関などを見抜く「**分析力**」、いくつかの事象から最適な解を選ぶ「**選択力**」、過去のデータから未来を見通す「**予測力**」、情報を正確に伝える「**表現力**」です。これらの力は、ビジネスシーンの至るところで求められます。



「財務諸表の見方を“ざっくり”学ぶ」とは

ビジネスシーンに難しい会計は不要！会社数字に対する苦手意識を克服する

企業の経営成績が記載されている有価証券報告書は100P以上になるものも珍しくありません。そのため「会社数字＝難しい」と考える方は多いのではないのでしょうか？しかし、財務諸表の大枠を捉えることは決して難しくありません。まずは“ざっくり”財務諸表を理解し苦手意識を克服することが重要です。

財務3表の連動性を“ざっくり”理解する

PL(損益計算書)は何となく理解しているがBS(貸借対照表)やCF(キャッシュフロー計算書)が分からない…といった声をよく聞きます。目標数値になりやすい売上や利益が記載されているPLに対してBSやCFは馴染みが薄いことが理由の一つです。BS・CFを“ざっくり”理解するには「財務3表の連動性」を理解することが近道です。

財務諸表をベースとした企業分析手法を身に付ける

「顧客分析」「同業他社分析」「自社分析」…財務諸表をベースとした企業分析手法を身につけることで仕事の幅が劇的に広がります。ただ、企業分析の重要性は理解できてもどの様にして分析を行うかが分からない方も多いでしょう。本研修では講師が日常的に行っている企業分析のステップを学ぶことで「明日から使える」企業分析手法を身につけられます。

プログラム

Step1 (13:30～14:10)	Step2 (14:10～14:50)	Step3 (15:00～15:40)	Step4 (15:40～16:40)
イントロダクション、ビジネスシーンにおける3つの数字活用術、財務3表をざっくり理解する。	財務3表の連動性を掴む ：会社設立から事業開始までの状況を理解し財務3表を作成する。	BS/CF理解 ：事例からBS・CFの重要性を学ぶ。	実践演習 ：財務諸表から企業分析を行うことで実務で活用するイメージを掴む。